

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年 2月 22日

公表:令和6年 3月 1日

事業所名:児童デイサービス・アニマートさのよしみず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		日々の活動、自由遊び等、限られたスペースを有効に利用し工夫して参ります。
	2	職員の配置数は適切である	4	0	法令で必要とされている人員配置基準を満たした職員数を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3		全てバリアフリーではありませんが、必要に応じて職員が補助に入り対応させていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		日々のミーティング、職員会議、活動会議等、話し合いの場を設け、目標設定と振り返りを行い、利用者様についての話をする場面を増やして参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		評価表による貴重なご意見を日々の業務に反映できるよう職員間で共有し、改善につなげて参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	法人内ホームページ、保護者会資料等で公表させていただいております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	事業所内外での研修を設けております。	今後も全職員が参加できるように、調整等行ってまいります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		初回面談時にご本人様の様子を伺っております。利用者様や保護者様のニーズが適切に反映されるよう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	児童発達管理責任者が中心となり、全職員で活動プログラムの話し合いを行っております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	楽しく活動参加できるように、季節や曜日等考慮しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	長期休暇中は、戸外遊び、買い物学習等のプログラムが組めるよう考えております。	感染対策を行いながら、出来る活動を工夫して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	集団活動のなかに個別の活動を組み合わせ支援を行っております。	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、固定化しないよう組んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0		支援開始前には、職員間でミーティングを行い、その日ごとに分担を決めて取り組んでおります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援終了後は記録を記入し、その日の様子を職員間で共有しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援記録記入後、その日の様子を共有しております。	日々の記録を丁寧に、利用者様、保護者様に寄り添った支援ができるように努めて参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		半年に一度モニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っております。利用者様、保護者様のニーズに反映できるように努めて参ります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	定期的にガイドラインの読み合わせを行い、確認しております。	引き続き会議の中で読み合わせを行って参ります。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達管理責任者が参加しております。	担当者会議に参加後、職員間で共通理解を図り、支援に繋げて参ります。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	送迎時に学校での様子を伺い、支援に繋げております。	学校より下校時刻表をいただいております。必要に応じて学校に連絡を入れる等対応し、保護者様にもご協力をいただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在は医療的ケアの必要な利用者様への支援の体制は整っていないため、お受け入れをしております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	相談支援事業所より情報を提供して頂いております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		必要に応じて連携が取れるように努めて参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		個人情報の配慮をしながら、必要に応じて検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	リズムや迎え時にお子様の様子をお伝えさせていただいております。	今後も職員間で情報を共有し、理解に努めて参ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0		事業所での成功例や職員が受けた研修内容などをお伝えし、対応に活かしていただけるよう保護者様にお伝えして参ります。支援方法を共通理解できるように努めて参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		ご利用開始時に説明をさせて頂いております。今後も分かりやすい説明を心掛けて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		面談、送迎時以外にも随時ご相談を承っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		状況を見ながら検討させていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	対応に遅れないように注意して参ります。	苦情に関しましては、随時、管理者が対応させていただいております。管理者が中心となり職員と連携し、迅速に対応できるように強化して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		毎月活動内容やお便りの発行をしております。お子様の様子や連絡事項をお知らせしております。
	35	個人情報に十分注意している	4	0		今後とも厳重に対応して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		視覚支援等を取り入れながら個々に合わせた伝達を行っております。今後ともご理解いただけるよう努めて参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0		ファミリーコンサートなど皆さまと一緒に参加いただける場を作っていけたらと思っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		マニュアル等が周知していただけるように努めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		年に2回火災時の避難訓練をしております。また、年に1回消防署の方による消火訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		定期的に虐待防止マニュアルの読み合わせを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0		必要に応じて同意を頂き、個別支援計画書に反映させていただきます。その都度、ご説明させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	アセスメント時に全職員に周知しております。	アレルギー一覧表を掲示し今後とも、正しく対応できるようにしてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		ヒヤリハット事例を共有し、事故防止、再発防止に努めてまいります。